



11-22
March
2019



第63回国連女性の地位委員会(CSW)に参加して

ジェンダー・イシューにおいて
日本が取り組むべき課題とは??

～日本政府代表団ユース代表としての経験から～

ユース代表 稲垣日菜子

CSW各国政府代表団ユース代表



UN Secretary General Youth EnvoyのJayathmaさんとともに



国内での 最近話題のジェンダー・ 이슈ーと言えば...

- 就活生へのセクハラ
- 医学部入試における男女格差
- 職場でのセクハラ #Metoo ムーブメント
- 緊急避妊薬の入手困難
- DV問題
- 世界男女平等ランキング 110位...

などなど



若者の視点から見て、
日本が男女共同や女性活躍において
取り組むべき課題とは何か？

- ①リプロダクティブヘルスサービスと
適切な性教育へのアクセス向上
- ②女性の労働・出産・育児における
主体的な選択とそれを可能とする環境の整備
- ③ジェンダー分野におけるODA拡充
特にアフリカのFGMや児童婚の根絶



①リプロダクティブ・ヘルス・サービスと 適切な性教育へのアクセス向上



PLANET 50-50 BY 2030
STEP IT UP
FOR GENDER EQUALITY

②女性の労働・出産・育児における 主体的な選択とそれを可能とする環境の整備

出産・育児への
男性の参画

産休・
育休制度

保育園・託児所等
子どものケア
サービス充実

ライフ・
プラン

職場の環境



PLANET 50-50 BY 2030
STEP IT UP
FOR GENDER EQUALITY

③ジェンダー分野におけるODA拡充 FGMや児童婚の根絶 など

FGM
(女性器切除)

サブサハラ
アフリカ

児童婚
早婚

教育格差

若年妊娠



北京+25と2030年SDGs達成に向けて

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



Social Protection • Public Services • Infrastructure



11-22
March
2019



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ご清聴ありがとうございました